



さあー
がんばれ
校長 揚村 洋一郎

先日、生徒全体集会の講話の最後に、生徒の中から携帯電話の受信音が鳴り他の生徒に憚る事もなく会話をし始める。この態度に講話をやめて注意を促しました。生徒はすぐに従って最後まできちんと講話に耳を傾けていました。このことは、今の若者たちに一般的に言えることです。辛抱、無気力、無関心、我慢できず楽しんで遊びたいといった怠惰な状態が想像できると思います。「最近の若者は」と、いつの時代においても言われてきました。私も例外なくいた。私も例外なくいた。この国の将来はこの若者たちにまかしておけるのか？と慨嘆しているとき、オリンピックでの若者の活躍は目を見張るものがあり、目頭が熱くなるほどの感動を私たちに与

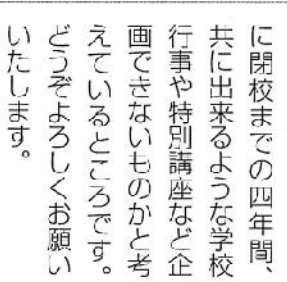


えてくれました。世界の頂点に立つのは並大抵のことではない。長期にわたる猛練習の末、苦しみぬいて挫折を繰り返し、失意の底から這い上がって勝ち取った栄冠であろうと思っております。立派なものです。彼らを頂点とするなら、底辺にはまだまだ無数の予備軍がいるに違いないと意を強くした次第です。オリンピックだけでは足りない。私たちの三田校の中にも「俺には、私には、私なりの成果を見せてやる」という生徒諸君の奮起に改めてエールを送りたい。



職業教育の
充実に
副校長 矢島 賢二

これは何かの縁なのかな、と思いつながら私は昨年、閉校した明正高校から三田高校に赴任しました。三田(定)は、日比谷・青山・芝商・第一商業の定四校とともに平成二十年三月に閉校となります。ちなみにこの年には十四校の定時制高校が閉校となり、夜間定時制高校の縮小を象徴しているように思います。



しかし、私は、定時制教育の果たしてきた重要な意義、教育の機会均等を確保するために諸先輩方が様々な努力をなされて来て多くの成果を得てきたことを再度想起しております。「ともかき」を手にする皆さんには、来年より、三・二・一・〇となる本校であるからこそ、同窓生と在校生の結びつきを強め合わせて本校の手薄な教



皆さんの
ご意見を
会長 若月 義男

今年度は活動も学校側のご理解、ご支援をいただきながら、例年とおり五月から幹事会を開催し、ともかきの発行、総会に向けての準備を進めてきました。話題はどうしても二十年三月の閉校以降の言葉会をどうするか議論になってしまいました。

現在の役員は、皆一〇年以上、長い方は二〇年以上続けています。このまま更に継続することは難しい状態です。非常に残念ではありますが、この際、募を閉じざるを得ないという意見が多く出ています。

今年度は三年振りの総会、懇親会を十一月十二日に母校で開催いたします。今年度の活動も学校側のご理解、ご支援をいただきながら、例年とおり五月から幹事会を開催し、ともかきの発行、総会に向けての準備を進めてきました。話題はどうしても二十年三月の閉校以降の言葉会をどうするか議論になってしまいました。

「同窓会、胸がふくらむ、会うまでは」「同窓会、ワルガキばかりが、出世を」「出世した、とたん出たがる、同窓会」「定年後、年金くらべの、同窓会」

「誰かやるの」という現実的な問題に突き当たってしまいます。次の総会は、二十年三月の閉校の時点を学校側の行事と併せて企画したいと考えています。従って、皆様の生の声をお聞きできるのとなりません。是非多くの皆様にご出席いただきご意見を伺いたいと思っております。また、ともかきの原稿をお願いした皆様、維持費にご賛同いただきました皆様、誠に御礼申し上げます。

第28回 昭和51年3月卒業1組
(担任 赤星智子先生)のみなさま
同窓会委員 中村(旧姓)加藤美知子

お元気ですか。同窓会で顔合わせ&懇親会に参加しましょう。電話がわかる方は掛け合せて、大勢の方の参加にしましょう。当日先生もお見えになる予定です。